



省の担当記者をしていたときの幹部も、談合は素晴らしいシステムだと言っていましたね。業界の互助システムだと。しかし談合を認めると、仕事が順繰りに回されて、本当はA社のほうが優れた仕事をするはずなのにB社に仕事が回るといふことも生じます。そうなること、競争による技術革新の意欲も下がります。それに「儲けを超えてる人もいて、企業の裏取引を擁護する人もいますが、賄賂が生じれば、自由競争なら本来不必要なカネが生まれ、結局、経費が高騰するわけですから、談合や賄賂を擁護する理屈は、じつは理に合わないはずです。

玉木 オリンピックの場合は公金

が使われるうえに、開催のための費用は、半世紀に一度のビッグイベントのためのものですからね。業界すべてが順繰りに潤うという談合擁護論や、経費が増えるだけの顧問料や賄賂などを肯定することは、そもそも論外ですね。

後藤 今回の事件でも、電通は自分たちの得意の分野の仕事を新規参入の代理店に回して助けたなんて言う人がいるらしいけど、当事者がその内容を詳らかにしたわけでもない。当人たちは国家イベントを成功させるために骨を折った気であるかもしれませんが、傍目には税金に群がって、できるだけ多くの札束を自分のポケットに入れたとしか見えませんね。

玉木 捜査は、これで一端幕を閉じたようにも見えますが……。

後藤 そのようですが、逮捕か否かに関わりなく、組織委元会長の森喜朗元総理と組織委元事務総長の武藤敏郎元財務省事務次官が、この一連の事件に関して、きちんとしたコメントを一言も口にしていないのは、どういうわけでしょうね？ 多くの人間が半世紀に一

度のビッグイベントに群がって、それも金目当てに群がって、ことくらいは誰にでも容易に想像できることで、元総理と元事務次官がそのことに気付かないはずがないでしょう。ならば中途半端な職責の人がチョイと賄賂をポケットに入れることまで監督しろとは言いませんが、これだけ大きな事件で直属と言える部下まで逮捕されているのに、知らなかったでは済まされないはずですよ。

玉木 本当に知らなかったのなら、これほどの大事件をトップが気付けなかった、その理由を組織として検証する必要がありますね。

後藤 東京都の小池百合子知事が、裁判結果によっては賠償請求をするかもしれないと発言したそうですね。裁判結果に関係なく多額の税金を出した自治体の長として、徹底検証を要求してもいいはずですよ。スポンサーになった企業も、自分たちが拠出した多額のカネが、いったいどういう使われ方をしたんだ、と怒り心頭に発して抗議しても良いはずですよ。

玉木 組織委員会には、もちろん電通社員だけでなく、都庁の少ない職員も出向していたはずですよ……。

後藤 そうですよ。混成部隊だったわけで、そういう公務員の人たちも、近くで見ている何も気付かなかったというなら、本当なら公務員失格で、クビにはできないでしょうが、進退伺いを出すべき事態ですよ。

玉木 それ以上に疑問に思うのはマスメディアの沈黙ぶりです。東京五輪のスポンサーには読売・朝日・毎日・日経・産経・北海道新聞という大手メディアが揃ってスポンサーになりましたが、事件に対する怒りどころか報道もあまりされない、という不思議な事態が続いています。クロスオーナーシップの関係なのか、TBSの『報道特集』を除いて、これだけ大きな贈収賄談合事件を、ニュース・シヨ番組がほとんど取り上げないのも不思議です。

後藤 新聞社にとっては国家イベントだからという気持ちもないわけではなかったでしょうが、かつ